

会員各位

公益社団法人 熊本県理学療法士協会

会長 坂崎 浩一

教育部 管理・運営教育班 班長 牛嶋 康介

平成 30 年度第 3 回 管理者教育研修会のご案内

拝啓

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、(公社)熊本県理学療法士協会教育部主催による平成 30 年度第 3 回管理者教育研修会を開催する運びとなりました。第 3 回目の本研修会は「クレーム・コンフリクトへの対応と医療安全」をテーマとし、身近な問題から医療紛争まで、様々な問題とどう向き合っていくべきか、どう対応すべきか、そうならないための対策についてご講義いただきます。組織の管理職ならびにリーダーの皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 日 時 平成 31 年 1 月 18 日 (金) 9:00 ~ 16:20 (8:30~受付開始)
2. 場 所 熊本機能病院 地域交流館市民塾ホール (熊本市北区山室 6 丁目 8 番 1 号)
3. テーマ・講師

『クレーム・コンフリクトへの対応と医療安全』

「理学療法士のコンフリクトマネジメントークレーム・コンフリクトへの対応」

転倒・骨折などのリハビリ職種に係る事例から、クレームや医療紛争への対応を学ぶ

森 照明 先生 (大分岡病院 統括院長)

「医療現場に活かす医療安全」

医療法に基づいて医療安全を考えていくか。またどのような視点が必要かを学ぶ

岩崎 浩思 先生 (御幸病院 診療技術部総括室長 医療安全推進担当)

「コミュニケーションを活かした医療紛争・クレームへの対応」

クレーム・医療紛争にどのような心構えで対応をするかを学ぶ

松本 泉 先生 (学校法人青照学舎 法人運営機構改革室主任)

4. 対 象 公益社団法人日本理学療法士協会会員並びに医療専門職種
5. 定 員 30 名(定員になり次第、締め切らせていただきます)
6. 参 加 費 会員 6,000 円 非会員 10,000 円
7. 申し込み (公社)熊本県理学療法士協会ホームページより申込みいただけます。
募集期間 平成 30 年 12 月 6 日(木)~12 月 20 日(木)
8. お問い合わせ 十善病院 リハビリテーション科 牛嶋康介
mail : kanri01stage@yahoo.co.jp
TEL : 096-372-2688 FAX : 096-371-8770

お申し込み後の連絡等は全てE-mailにて行います。必ずyahoo.co.jpからのメール受信が出来るよう設定をお願いします。

講師紹介：「医療現場に活かす医療安全」

岩崎 浩思（ いわさき ひろし ）先生 プロフィール

現職：医療法人博光会御幸病院 診療技術部統括 医療安全推進担当

略歴

- 1979年：熊本大学医学部附属診療放射線技師学校卒業
- 同 年：熊本市に入職 保健所・保健センター
- 1981年：熊本市民病院 放射線科勤務
- 1988年：熊本市立産院勤務
- 1989年：熊本市民病院 中央放射線部勤務
- 1999年：熊本市保健所 地域保健課勤務(医療法事務)
- 2002年：熊本市民病院 中央放射線部主任技師
- 2006年：熊本市保健所 地域医療課技術参事(医療法事務)
- 2012年：熊本市保健所 医療政策課
- 2015年：熊本市退職 旅客運送業を経て医療法人弘生会本庄内科病院勤務
- 2018年：医療法人博光会御幸病院 勤務

現在に至る

撮影、放射線治療、CT等に臨床従事、医療法事務、病院立入検査業務、放射線管理

1995年：日本放射線技師会推薦により国際医療貢献事業に派遣、放射線治療分野における品質管理指導としてタイに技術支援

2010年：国立保健医療科学院医療安全管理者研修終了

2018年：熊本中央高校看護専攻科講師

～メッセージ～

このたびは、皆様のスキルアップの研修において医療安全に関する研鑽の場に参加させていただく機会を与えていただきましてありがとうございます。

私も医療の現場を経験して多くの患者と向き合ってきました。その後には赴いた保健所では、臨床現場の経験を活かした行政指導に心がけ、大変充実した日々を送ることができました。退職後、再び現場に戻って、日々の業務の中から医療安全を通じた TQM の向上につながるものを模索している毎日です。

本日は、行政経験を踏まえながら、法律の求める「医療安全」から TQM の向上へということができるだけ具体的にわかりやすく皆様にお示しできればという意気込みで臨んでまいります。

今回の話が今後皆様の業務に少しでも役立てていただければ幸甚に存じます。

テーマ：「コミュニケーションを活かした医療紛争・クレームへの対応」



松本 泉（ まつもと いずみ ）先生 プロフィール

現職：学校法人青照学舎 法人運営機構改革室 主任
公益社団法人日本理学療法士協会 教育学会 運営幹事
公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

略歴

1991年：3月西日本リハビリテーション学院 理学療法学科 卒業
同 年：4月医療法人高邦会柳川リハビリテーション病院勤務
1995年：4月医療法人高邦会柳川リハビリテーション病院 理学療法科主任
1997年：3月柳川リハビリテーション病院退職
同 年：4月スポーツコンディショニングプロモーションジン所属
1999年：4月医療法人聖十字会西日本病院勤務
2001年：4月医療法人聖十字会西日本病院 総合リハビリテーション室主任
2002年：8月医療法人聖十字会西日本病院 総合リハビリテーション室室長
2005年：4月西日本リハビリテーション学院 理学療法学科 講師
総合リハビリテーション室室長併任
2013年：10月熊本駅前看護リハビリテーション学院 理学療法学科 講師
2014年：10月熊本駅前看護リハビリテーション学院 理学療法学科 学科長
1月 教務部長代理
2018年：4月学校法人青照学舎 法人運営機構改革推進室 主任

～メッセージ～

人と人がつながった組織を循環させるためにコミュニケーションが大切な役割を果たします。1対1のコミュニケーションを行うこと、部署間のコミュニケーションを行うこと、組織の縦のつながり、横のつながりを行うことに大きな力を発揮するコミュニケーション活用術をお伝えしたいと思います。



森 照明（ もり てるあき ）先生 プロフィール

現職：社会医療法人敬和会 統括院長

大分県医療コンフリクトマネジメント研究会 会長

役員など：

(財) 日本医療メディエーター協会九州支部理事・認定医療メディエーター

(一社) 大分県医師会医事紛争処理委員会委員

大分地方裁判所 専門委員

大分県医療コンフリクトマネジメント研究会会長

(財) 日本教育推進財団認定コミュニケーショントレーナー

(公財) 日本生産性本部認定ダイバーシティアドバイザー

(一社) 日本ヘルスケアダイバーシティ学会副理事長

(一社) 九州先端リハビリテーションケアクラスター推進機構理事長

(NPO) 豊の国より良き医療と健康づくり支援センター副理事長

PHP ビジネスコーチ

アンガーマネジメントファシリテーター

九州コミュニケーション研究会 共同代表世話人

(公社) 大分県老人保健施設協会理事

(一社) 大分県スポーツ学会顧問 (前理事長)

歩行リハビリテーション研究会代表世話人

大分県医療介護ロボ・HAL研究会世話人代表

大分県スポーツ医科歯科研究会会長

日本脳神経外科学会評議員 日本医療マネジメント学会評議員

日本臨床スポーツ医学会名誉会員

元日本卓球協会スポーツ医科学委員長・ナショナルチームドクター

略歴：

昭和 45 年 3 月 東北大学医学部卒業 脳神経外科入局

昭和 57 年 4 月 大分医科大学 助教授 脳神経外科

平成 13 年 4 月 国立療養所 西別府病院院長

平成 21 年 10 月 財団法人 湯布院厚生年金病院院長

国立病院機構西別府病院名誉院長

平成 25 年 7 月 社会医療法人敬和会大分岡病院長・統括院長

平成 28 年 4 月 大分大学臨床教授

賞罰：

平成 11 年 大分市スポーツ功労賞

平成 20 年 日本結核医学会 塩田賞

平成 24 年 大分合同新聞社 文化賞

～メッセージ～

2025年に日本は超高齢社会を迎えます。ダイバーシティ導入なくしては成り立ってゆかない社会が到来します。リハビリテーションの世界も同じです。

高齢者、障がい者、外国籍の方、LGBTなど多様性の方々を受け入れ活かし、イノベーションをおこし、組織、社会を活性化することが求められています。医療ロボットとの共生・協働も同じです。これらに伴い理学療法士の皆さんのリハビリテーションの果たす役割も大きいものがあります。

一方、今回のテーマである「理学療法士のコンフリクトマネジメント・トークレーム・コンフリクトへの対応」も大きな課題として上がってきます。

スライドの講義内容10項目に沿って、テーマの背景、コミュニケーション、患者への説明義務、初期対応、転倒、身体拘束、院内暴言・暴力などを取り上げ、それらに対する課題と対策、医療メディエーショントレーニングなどのエクササイズを行いながら解説、体験して頂こうと計画しております。

また、チームコミュニケーションの大切さや上司になってはいけない人なども紹介したいと考えております。

皆様のこれからの活動の一助になれば幸いです。よろしくお願いいたします。